

## 上半期レポート 銚子信用金庫の現況

[平成24年4月1日から平成24年9月30日まで]

# 2012

### 店舗のご案内

(平成24年9月末日現在)

店番	店名	郵便番号	所在地	電話番号	ATMご利用可能時間・機能				AED
					平日	土	日・祝	音声案内	
1	本店	288-8686	銚子市双葉町5-5	0479-25-2111	A	C	C	○	○
3	外川	288-0014	銚子市外川町2-10620-3	0479-22-5525	B	C	-	○	-
4	本城	288-0831	銚子市本城町2-183-2	0479-22-5945	B	C	-	○	-
5	橋本	288-0002	銚子市明神町1-74	0479-22-8786	A	C	C	○	-
6	松岸	288-0835	銚子市垣根町1-283	0479-22-3490	B	C	C	○	○
7	八日市場	289-2144	匝瑳市八日市場イの2906	0479-72-1531	B	C	C	○	-
8	飯岡	289-2705	旭市飯岡2163	0479-57-3434	B	C	C	○	-
9	船木椎柴	288-0862	銚子市高田町6-889	0479-33-1311	B	C	-	○	-
10	松尾	289-1527	山武市松尾町大堤114-4	0479-86-2421	B	C	C	○	-
11	波崎	314-0408	神栖市波崎6381-1	0479-44-0571	A	C	C	○	-
12	大原	298-0004	いすみ市大原7650-7	0470-62-1222	B	C	-	○	-
13	勝浦	299-5225	勝浦市墨名788	0470-73-0102	B	C	C	○	-
14	大多喜	298-0214	夷隅郡大多喜町新丁91-1	0470-82-2831	B	C	C	○	-
15	茂原	297-0026	茂原市茂原547	0475-22-3348	B	C	-	○	○
16	鹿島	314-0031	鹿嶋市宮中1-9-30	0299-82-4521	B	C	-	○	-
18	末広	260-0843	千葉県中央区末広2-2-7	043-265-1711	B	C	-	○	-
19	神栖	314-0112	神栖市知手中央9-9-22	0299-96-3541	A	C	C	○	○
21	東金	283-0068	東金市東岩崎6-4	0475-55-1751	B	C	C	-	○
23	清川町	288-0817	銚子市清川町4-4-7	0479-23-6111	A	C	C	○	-
24	東庄	289-0611	香取郡東庄町新宿1134-2	0478-86-2111	A	C	C	○	-
25	土合	314-0347	神栖市土合中央2-9-12	0479-48-3711	B	C	C	○	-
28	旭中央	289-2516	旭市口の832	0479-62-1011	A	C	C	○	○
29	横芝	289-1732	山武郡横芝光町横芝1502-5	0479-82-1551	B	C	C	○	-
30	海上	289-2613	旭市後草2047-5	0479-55-3211	B	C	C	-	-
31	千漣	289-2504	旭市二の6368	0479-63-8888	A	C	C	○	-
32	山田	289-0411	香取市府馬2729-3	0478-78-2611	B	C	-	○	-
33	千葉	260-0001	千葉県中央区都町3-15-1	043-231-2631	B	C	C	-	○
34	佐倉	285-0013	佐倉市海隣寺町5-11	043-485-1104	B	C	-	○	-
41	蓮沼	289-1802	山武市蓮沼口の2932-6	0475-86-4181	B	C	-	○	-
店舗外ATM			(銚子市役所)		D	-	-	○	
ATMご利用可能時間		A	8:00~21:00	B	8:00~20:00	C	8:45~17:00	D	9:00~17:00

ATM機能	お振込み	全店のATMでご利用いただけます。(お振込みには手数料がかかる場合がございます。)
	通帳繰越	全店に通帳繰越機能付ATMを設置しています。
	音声案内	視覚障がい者の方にもご利用いただけるハンドセット付ATMを設置しています。

※ 店舗外ATMでのお振込みは、キャッシュカードのみのお取り扱いとさせていただきます。  
 ※ 店舗外ATMは、年末年始にはご利用いただけない場合がございます。



平成24年11月発行



〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5-5  
 TEL.0479-25-2100(代表)  
<http://www.choshi-shinkin.co.jp>



102年目のちょうしんきん

平素は銚子信用金庫をご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。  
ここに2012年度上半期(4月～9月)の当金庫の活動状況をお知らせいたします。  
さて、東日本大震災から約1年半が経過しましたが、復旧の遅れや原発事故による風評被害が続くなか、リーマン・ショック(2008年)以降の国内経済の低迷も回復には程遠い状況となっています。また、当金庫の営業地域についても、人口減少・少子高齢化が進行するエリアが多く、景況の低迷と併せて地域経済は疲弊の色を濃くしています。  
限定された営業エリアで活動する信用金庫にとって、地域とは運命共同体とあっていい関係にあります。特に、震災による大規模被災地、そして原発事故の影響により活動エリアの一部喪失や未だ続く風評被害のなか、当該地域で活動する各信用金庫の奮闘ぶりを仄聞するにつけて、地域経済を底辺から支え守っていくという信用金庫本来の活動の重要性を改めて認識するとともに、さらなる地域への貢献を促される思いを強く感じております。  
そのようななか、当金庫では、本年度より新たな中期計画(新三か年計画)を策定し、その目的を「地域のお客さまからの圧倒的な信頼の獲得」といたしました。当金庫は、いかなる環境におかれたとしても、「地域とともに歩む」という本源的な活動を基本として、これを確固たるものとするべく、具体的な施策を展開してまいります。

今後とも、当金庫に変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



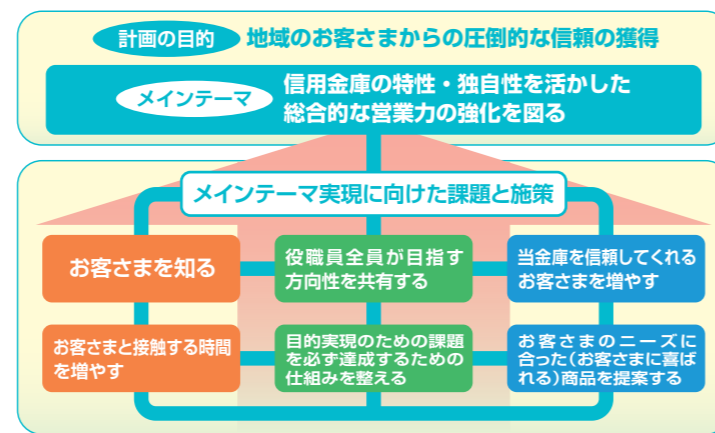
平成24年11月  
理事長 **松岡 明夫**

当金庫の概要

名称	銚子信用金庫
所在地	銚子市双葉町5番地の5
電話番号	0479-25-2100 (代表)
創立	明治43年7月15日
出資金	2,705百万円(普通出資金)
会員数	37,482名
店舗数	29店舗(千葉県内25店・茨城県内4店)
役員数(常勤)	444名

(平成24年9月末現在)

新三か年計画 (平成24年度～26年度)



銚子市観光振興コンサルティング事業

当金庫では、銚子市の観光事業活性化への提言として、平成23年8月に「銚子市観光振興コンサルティング事業報告書」を発刊いたしました。同報告書で提案している個別施策は、現在、その実現に向け銚子市役所をはじめ関係団体で協議が行われています。

【3大学ゼミによる銚子地域の活性化プロジェクト】

平成24年5月に駒澤大学・立正大学・桜美林大学の3大学ゼミが合同で「銚子地域の活性化プロジェクト」を開始しました。当金庫は地域協力機関として庫内に事務局を設置し、活動をサポートさせていただきました。

3大学ゼミの学生約100名は、6月から統計データ分析とプランの草案作り、8月27日～30日には調査・研究のまとめと総合的振興プラン策定に向け銚子市での合同合宿、合宿最終日には「銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城」を会場にシンポジウムを開催し、研究結果と活性化プランの発表を行いました。

発表された活性化プランは、「食の商品開発」「イベント企画」「情報発信(うわさ)」「情報発信(情報誌)」の4つのカテゴリから成り立っており、既に実現しているプランもございます。



ビジネスマッチングガイドブック

当金庫のお客さま同士の取引機会の提供と販路の拡大、新規顧客の獲得に寄与することを目的として「ビジネスマッチングガイドブック」を作成し、平成23年7月より店頭に備え置いています。

189社のお取引事業所さまの商品、技術、サービスなどの事業内容をはじめ、企業PR(事業の特徴)についても、事業所さまのご希望に応じてご紹介しております。

同ガイドブックにより接点のなかった事業所さま同士のマッチングが成功し、販路拡大・取扱商品拡充に繋がった事例もございます。

同ガイドブックは当金庫本支店でご覧いただけます。



第4期「ちょうしんきん経営塾21」開講 (平成24年9月～26年8月)

企業の発展と地域経済の活性化を目指して、事業意欲の高い地元の次世代経営者を対象に、経営についての継続的な学習機会をご提供させていただいております。

平成18年7月に開講した若手経営者勉強会「ちょうしんきん経営塾21」は、平成24年9月から受講生30名で、第4期がスタートしております。



地域活性化に向けた取組み

## 若手社員研修会 (平成24年4月26日・27日)

「若手社員研修会」は、地域事業所の若手社員を対象に、ビジネスマナー・電話応対・仕事の進め方・金融経済の基礎知識などの社員教育を代行する研修会で、毎年4月に開催しています。当研修会は今回で22回の開催となり、これまでに381事業所、810名の方が受講されています。



## 職場体験学習 (平成24年6月～9月)

地域の明日を担う子供たちへの金融教育の一環として、当金庫では、小・中学生向け職場体験学習の受入れに積極的に取り組んでいます。今年も、小学生6名、中学生2名を受入れ、金融機関の業務やビジネスマナーの学習などを体験していただきました。また、大学生向けに就業力育成支援を目的としたインターンシップにも同様の取り組みを行っており、今年も千葉科学大学生2名を受入れ、お客さまの案内や実際の仕事も体験していただきました。



## 第35回文化講演会 (平成24年11月11日)



過去34回にわたり文化講演会を開催しています。10年以上続けて来場されている方など、毎回多くの方に喜んでいただいている地域に定着した企画のひとつです。平成24年度は、銚子市青少年文化会館大ホールを会場に、芸能活動のみならず、講演や執筆業などの幅広い活動を展開されている高木美保(たかぎ みほ)さんをお招きして「命を感じて暮らす」をテーマにご講演いただきました。



## 第2回しんきん食の商談会開催 (平成24年10月10日)

千葉県内の5信用金庫(千葉信用金庫、東京ベイ信用金庫、館山信用金庫、佐原信用金庫、銚子信用金庫)の共催で、第2回目となる「しんきん食の商談会」を開催いたしました。千葉県の名産、物産を広く千葉県内外にPRすることを目的として、今回は「食」の中でも加工食品と観光物産関連に着目して出展者を募集しました。参加されたお客さま(出展者)は、バイヤーとの交渉の中で、商品力の向上や新商品開発のヒントを得るなど、有意義な商談会となりました。



(会場:京成ホテル ミラマレー 出店企業:61社 バイヤー企業:15社)

## 平成23年度の環境自主目標と達成状況

当金庫は、環境保全のための自主的な目標を定め、その実現に向けて活動しています。23年度の取り組み状況について、お知らせいたします。

	環境自主目標	達成状況	評価
電力使用量	平成20年度比6%削減	18.2%削減 (年間356,857Kwh削減)	電力、ガソリン、水使用量については、照明の間引きや室温管理の徹底、設備の見直し等により目標達成となりました。紙使用量については、内部管理業務の増加に伴い平成20年度比8.6%増加し、目標未達成となりました。
紙使用量	平成20年度比6%削減	8.6%増加 (年間736,300枚増加)※A4換算	
ガソリン使用量	平成20年度比3%削減	9.3%削減 (年間9,716ℓ削減)	
水使用量	平成20年度比6%削減	17.4%削減 (年間1,278㎡削減)	
廃棄物のリサイクル推進	廃棄文書38tを溶解処理によるリサイクルに取組みました。エコキャップ運動は継続して取り組んでおります。		
金融商品・金融サービスの提供	環境に配慮した車・住宅・住宅設備などの購入に際して、ご融資金利や保証料を割引するローン販売しております。		
環境保全活動	海岸清掃など地域の環境保全活動に積極的に参加しました。環境啓蒙活動の一環として、店頭エココーナーを設置しています。		

## その他の活動

### ●省エネ診断の受診

当金庫本店・本部の「省エネルギー診断サービス」を受診しました。この診断サービスは、一般財団法人省エネルギーセンターが実施しているもので、一定量のエネルギーを使用する事務所を対象に、電気・水道などの使用状況の診断や改善策の提案を無料で受けることができ、環境負荷の低減に加え、コストの削減にも有効なサービスです。当金庫は、本サービスにおいて、優良との診断結果をいただきました。今後も省エネ・省資源へ向けた活動を推進してまいります。

### ●今夏の節電対策

当金庫では、使用最大電力の需要抑制に向けて、昨夏同様、節電に対して積極的な取り組みを進めました。当金庫における電力使用量の一昨年夏対比の実績は、7月31.9%、8月33.1%、9月22.9%と前年並みの削減率を達成できました。お客さまには当金庫の節電への取り組みにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

### ●エコキャップ運動

店頭エコキャップ回収ボックスを設置し、ペットボトルキャップの回収運動に参加しています。お客さまからお預かりしたキャップは次のとおりとなりました。今後もご協力をお願いいたします。

平成24年9月末現在

- 回収総数 : 1,936,020個
- ワクチン : 2,398人分
- CO2削減 : 15,111kg

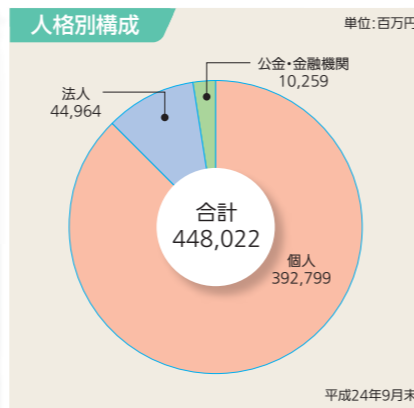
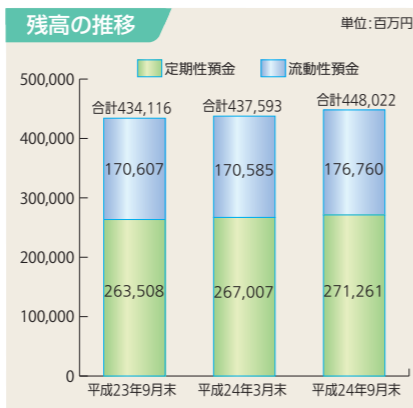


エココーナーの様子

## 預金積金の状況

平成24年度上期は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開しました。その結果、24年9月末の預金積金残高は、前年度末比10,429百万円増加し、448,022百万円となりました。

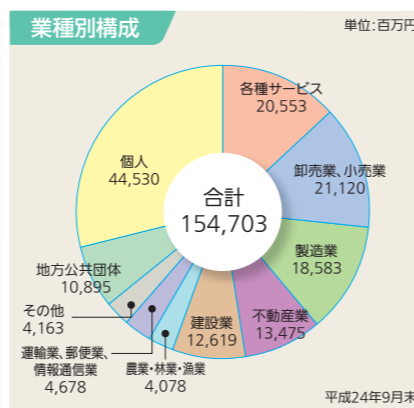
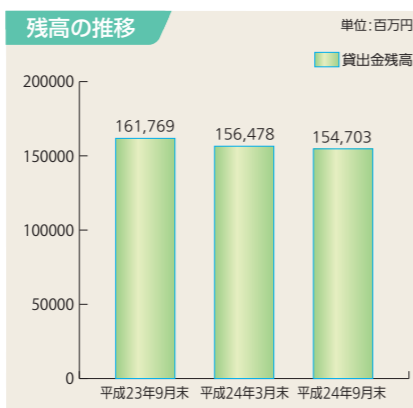
お預かりしているご預金は、地域のお客さまからの当金庫への「信頼の証」と考えます。



## 貸出金の状況

事業性融資については、震災関連、セーフティネット保証などの保証協会保証付融資を主体に推進し、個人性融資については、震災関連、金利割引による住宅ローン・リフォームローン・カーローンを中心に推進しました。

しかしながら、事業所の設備投資意欲や個人消費の低迷などから、総じて資金需要は鈍い状況が続いており、24年9月末の貸出金残高は、前年度末比1,775百万円減少し、154,703百万円となりました。

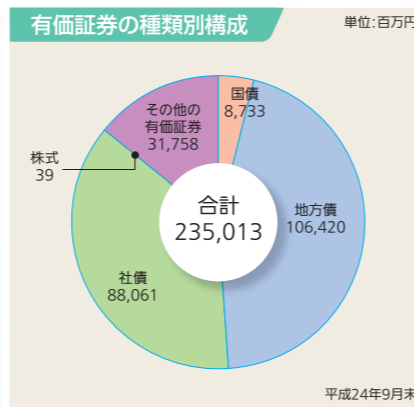
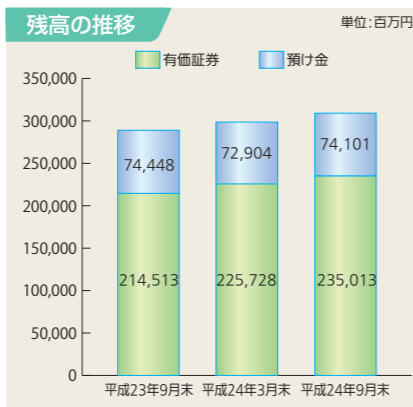


## 有価証券および預け金の状況

お客さまからお預かりしたご預金は、ご融資(上記貸出金)のほか、有価証券などで運用しております。

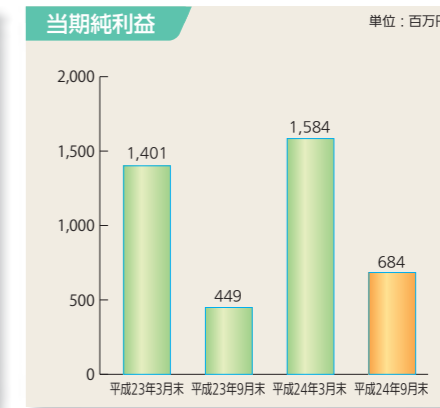
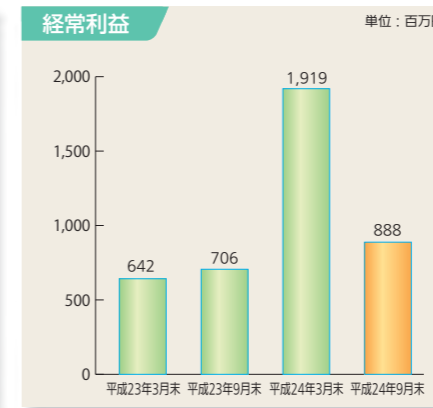
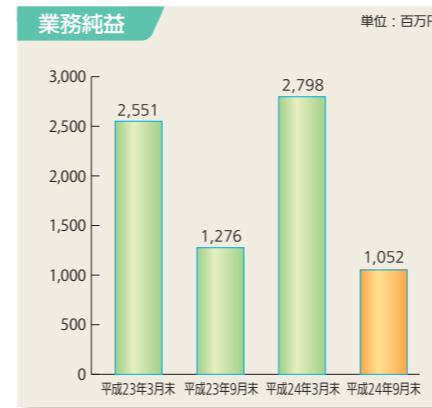
24年9月末の有価証券残高は、前年度末比9,285百万円増加し、235,013百万円となりました。有価証券運用は、安定収益の確保を目的として国債・地方債・政保債・金融債を中心とした堅実なポートフォリオを形成し、運用を行っております。

預け金は、日本銀行、信金中央金庫などに預入しております。



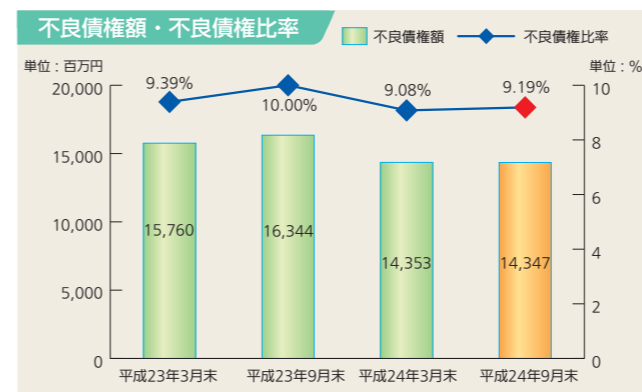
## 損益の状況

業務純益は、貸出金残高の減少・利回りの低下に伴う貸出金利息の減少などにより、前年同期比224百万円減少の1,052百万円となりました。経常利益は、債務者の倒産等に伴う償却・個別貸倒引当金繰入が前年同期比439百万円減少したこと、前年同期比182百万円増加の888百万円となり、法人税等を控除した当期純利益は前年同期比235百万円増加の684百万円となりました。



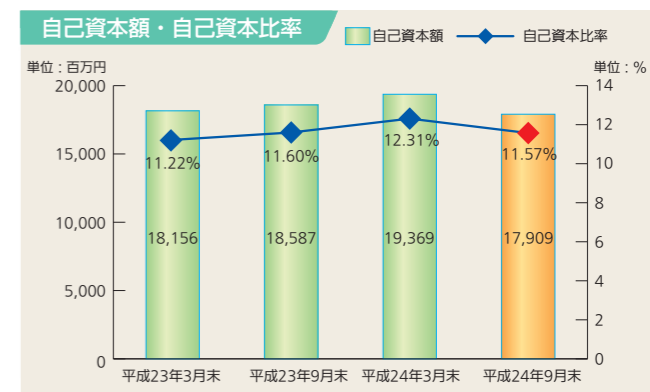
(注)「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、平成23年9月期以降の「貸倒引当金戻入益」および「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、平成23年3月期以前については過及処理を行っておりません。

## 不良債権の状況



毎年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて不良債権処理を進めるほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施しております。この結果、24年9月末の不良債権額は前年度末比6百万円減少したものの、不良債権比率は分母となる貸出金等が減少したこと、前年度末比0.11ポイント上昇の9.19%となりました。

## 自己資本の状況



24年度上期に特別積立金2,111百万円を取り崩し、優先出資を購入消却しました。これにより、24年9月末の自己資本額は、前年度末比1,460百万円減少の17,909百万円となり、経営体力を示す自己資本比率は、前年度末比0.74ポイント低下の11.57%となりました。今後も引き続き、利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い自己資本の充実を図ってまいります。

■貸借の状況

科目	単位：百万円		
	平成23年9月末	平成24年9月末	増減額
<b>(資産の部)</b>			
現金	4,364	4,695	331
預け金	74,448	74,101	△ 347
買入金銭債権	1,033	932	△ 101
有価証券	214,513	235,013	20,500
貸出金	161,769	154,703	△ 7,066
その他資産	3,331	2,692	△ 639
有形固定資産	3,923	3,936	13
無形固定資産	140	153	13
繰延税金資産	1,600	1,398	△ 202
債務保証見返	1,096	938	△ 158
貸倒引当金	△ 6,090	△ 4,983	1,107
投資損失引当金	△ 23	△ 18	5
<b>資産の部合計</b>	<b>460,107</b>	<b>473,564</b>	<b>13,457</b>

(注) 優先出資(引)受先:信金中央金庫)150億円のうち、21億円につきましては、平成24年7月9日に信金中央金庫より買入し、同日に特別積立金(優先出資消却積立金)を取り崩しのうえ消却しました。ただし、「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」に定める規定に従い「優先出資金」および「資本剰余金(資本準備金)」として表示しております。

■損益の内訳

科目	単位：百万円		
	平成23年9月末	平成24年9月末	増減額
<b>業務粗利益</b>	<b>3,730</b>	<b>3,338</b>	<b>△ 392</b>
資金利益	3,599	3,397	△ 202
貸出金利息	2,077	1,918	△ 159
有価証券利息配当金	1,437	1,453	16
預け金利息	205	132	△ 73
資金調達費用	△ 161	△ 145	16
役員取引等利益	115	125	10
その他業務利益	15	△ 184	△ 199
一般貸倒引当金繰入額	△ 151	19	170
経費	△ 2,303	△ 2,305	△ 2
業務純益	1,276	1,052	△ 224
コア業務純益	1,424	1,224	△ 200
臨時損益	△ 569	△ 163	406
償却・個別貸倒引当金繰入額	△ 905	△ 466	439
貸倒引当金戻入益・償却債権取立益	330	321	△ 9
経常利益	706	888	182
当期純利益	449	684	235

■自己資本の構成に関する事項

項目	単位：百万円	
	平成24年3月末	平成24年9月末
<b>(自己資本)</b>		
出資金	10,219	10,205
うち非累積的永久優先出資	7,500	6,450
資本準備金	1,033	1,033
利益準備金	917	917
特別積立金	5,699	3,587
繰越金	327	1,011
処分未済持分	0	0
<b>[基本的項目] 計 (A)</b>	<b>18,196</b>	<b>16,755</b>
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	190	190
一般貸倒引当金	984	964
補完的項目不算入額	△ 1	-
<b>[補完的項目] 計 (B)</b>	<b>1,172</b>	<b>1,154</b>
自己資本総額 (C) = (A) + (B)	19,369	17,909
<b>[控除項目] 計 (D)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
自己資本総額 (E) = (C) - (D)	19,369	17,909
<b>(リスク・アセット等)</b>		
資産(オン・バランス)項目	142,430	140,074
オフ・バランス取引等項目	812	700
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	14,000	14,000
リスク・アセット等計 (F)	157,244	154,775
Tier 1比率 (A/F)	11.57%	10.82%
自己資本比率 (E/F)	12.31%	11.57%

(注) 1. 信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定にも基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況かどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21条)に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。2. 基本的項目の「特別積立金」が平成24年3月末比で2,111百万円減少しておりますが、これは、平成24年7月9日に優先出資(引)受先:信金中央金庫)150億円のうち21億円を信金中央金庫から買入消却するに当たり、買入に伴うみなし配当金11百万円を含めて、優先出資償却積立金(特別積立金)を取り崩しのうえ対応したことによります。

■自己資本の充実度に関する事項

	単位：百万円			
	平成24年3月末		平成24年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	142,430	5,697	140,074	5,602
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	142,336	5,693	140,013	5,600
(i) ソブリン向け	2,340	93	2,873	114
(ii) 金融機関向け	30,908	1,236	30,805	1,232
(iii) 法人等向け	47,002	1,880	45,835	1,833
(iv) 中小企業等・個人向け	32,105	1,284	32,089	1,283
(v) 抵当権付住宅ローン	5,475	219	5,176	207
(vi) 不動産取得等事業向け	9,625	385	8,959	358
(vii) 三月以上延滞等	2,674	106	2,288	91
(viii) その他	12,203	488	11,984	479
②証券化エクスポージャー	94	3	61	2
ロ. オペレーショナル・リスク	14,000	560	14,000	560
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	156,431	6,257	154,074	6,162

(注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%  
2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)ならびにオフバランス取引および派生商品取引の与信相当額です。  
3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州連合、信用保証協会および漁業信用基金協会のことです。  
4. 「三月以上延滞等」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーおよび「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
5. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。  
<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>  
粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15% ÷8%  
直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数  
6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

## ■有価証券等の時価情報

### 【有価証券】

満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	平成24年3月末					平成24年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額		貸借対照表計上額	時価	差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
国債	4,067	4,151	84	84	5,268	5,341	73	73	0	
地方債	99,683	102,802	3,119	3,135	106,201	110,212	4,011	4,014	3	
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
社債	48,863	49,802	939	1,263	48,199	49,343	1,144	1,331	187	
その他	6,548	6,386	△162	43	4,148	4,052	△95	39	134	
合計	159,162	163,143	3,980	4,526	163,817	168,949	5,132	5,457	325	

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。

### その他有価証券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	平成24年3月末					平成24年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	
				うち益	うち損				うち益	うち損
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
債券	38,930	39,163	233	312	79	43,267	43,546	278	353	74
国債	3,140	3,243	102	102	-	3,341	3,465	123	123	0
地方債	217	218	1	1	-	217	218	1	1	0
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	35,572	35,701	129	208	79	39,709	39,862	153	228	74
その他	27,084	27,362	278	386	108	27,438	27,608	169	221	51
合計	66,015	66,526	511	698	187	70,705	71,154	448	574	125

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の貸借対照表計上額 単位:百万円

	平成24年3月末	平成24年9月末
その他有価証券の非上場株式	39	39

売買目的有価証券 … 該当ありません。

子会社・子法人等株式および関連法人株式 … 該当ありません。

### 【金銭の信託】

該当ありません

### 【デリバティブ取引等】

該当ありません

## ■金融再生法に基づく開示債権

単位:百万円

	平成24年3月末	平成24年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	4,000	3,903
危険債権	8,659	8,953
要管理債権	1,693	1,490
不良債権 (A)	14,353	14,347
正常債権	143,645	141,731
総与信残高	157,999	156,078
担保・保証	9,148	8,826
貸倒引当金	2,966	3,417
保全額 (B)	12,114	12,244
保全率 B/A	84.40%	85.34%
未保全額 (A-B)	2,239	2,102

## ■金利リスクに関する事項

単位:百万円

区分	資産		負債	
	金利リスク量		金利リスク量	
	平成24年3月末	平成24年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末
貸出金	1,747	1,709	要求性預金	2,213
有価証券	8,094	8,848	(うちコア預金)	(2,109)
預け金	714	533	定期性預金	2,305
その他	0	0	その他	74
合計	10,555	11,089	合計	4,593
銀行勘定の金利リスク	5,962	6,279		

(注) 1. 銀行勘定の金利リスクは、金利ショックによって発生する現在価値(時価)変動額の資産と負債のギャップを見るものです。当金庫では、金利が一律1%上昇した場合を想定して、銀行勘定の金利リスクを算出しています。  
2. 要求性預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出しされることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、要求払預金(普通預金、当座預金等)残高の50%相当額を金利更改期間を最長5年以内、かつ平均期間2.5年以内に振り分けてリスク量を算出しています。  
3. 銀行勘定の金利リスクは、資産の金利リスク量と負債の金利リスク量を差し引いて算出しています。  
銀行勘定の金利リスク(6,279百万円)＝資産の金利リスク量(11,089百万円)－負債の金利リスク量(4,810百万円)

## 金利3倍! 夏の定期預金キャンペーン (平成24年6月1日～7月29日)

金利3倍の定期預金を発売しました。

大変ご好評をいただき、6月20日に募集予定額の50億円に達し完売となりました。ありがとうございました。

## 教育ローン特別金利キャンペーン実施中!

ちょうしんきんがお子さまの夢を応援します。

教育ローン「エース」またはリピートプランを新規にお申込みの方すべて、基準金利から0.50%、18歳以下のお子さまがいる方は、さらに0.20%金利を割引させていただきます。

お申込金額は最高500万円、お支払方法は在学期間中最長4年6ヶ月まで利息のみのお支払いなどを選択でき、お客さまがご利用しやすい商品となっています。

<特別金利キャンペーン>平成25年4月30日まで 詳しくは店頭で!



## 住宅ローン金利割引

<ウレシイ引き算>

しんきん住宅ローン「セレクトII」または「太陽」をお申込みの方を対象に、当金庫とのお取引などに応じて金利を割引させていただきます。

また、すでにご利用いただいている方で当初特約固定期間経過後の継続時の金利割引も実施しています。

<金利割引>平成25年4月30日まで

その1【お得意さま割引】

その2【エコ割引】

その3【子育て応援割引】

詳しくは店頭で!



## リフォームローン金利割引

<ウレシイ引き算>

リフォームローン彩またはリピートプランをお申込みの方を対象に、当金庫とのお取引などに応じて金利を割引させていただきます。

<金利割引>平成25年4月30日まで

その1【お得意さま割引】

その2【エコ割引】

その3【子育て応援割引】

詳しくは店頭で!



## カーローン金利割引

しんきんカーライフプランローンまたはリピートプランをお申込みの方を対象に金利や保証料を割引させていただきます。

割引対象は、当金庫とのお取引内容、免許証の種類、購入車種などにより異なります。

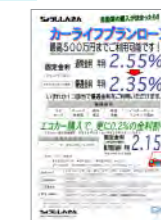
<金利割引>平成25年5月31日まで

その1【お得意さま割引】

その2【エコ割引】

その3【優良ドライバー割引】

詳しくは店頭で!



## 復興特別所得税に関するお知らせ

2011年12月2日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が公布され、2013年1月1日より預金商品等から生じる所得(預金利息等)に対して「復興特別所得税」が課税されます。

	現行	「復興特別所得税」課税後	「復興特別所得税」課税期間終了後
期間	2012年12月31日まで	2013年1月1日から 2037年12月31日まで	2038年1月1日以降
税率	20% (国税15%・地方税5%)	20.315% (国税15.315%・地方税5%)	20% (国税15%・地方税5%)